

鹿角市八幡平で採集されたキマダラモドキ

梅津 一史*

キマダラモドキ *Kirinia fentoni* (Butler, 1877) の、秋田県内における分布はきわめて局所的で、秋田県版のレッドリストでは絶滅危惧ⅠAとされている。高橋(1972)は、既知産地として、田沢湖町(現仙北市)高野と田沢湖畔、雄勝町(現湯沢市)鬼首峠を挙げているが、のちに鬼首峠の記録は宮城県鬼首のものであると訂正している(高橋, 1977)。成田(2000)はそれまでの秋田県内の採集例をまとめているが、仙北市田沢湖高野が唯一の確実な産地であり、それ以外では由利郡での古い記録や、矢島町(現由利本荘市)産と思われる1986年採集の標本を見たという情報があるだけであるという。新谷(1977)は、1976年の時点で田沢湖町高野では多く見られることを報告しているが、のちに、1988年には生息地が狭められ非常に少なくなったと記している(新谷, 1989)。秋田県立博物館に収蔵されている唯一の標本(AKPM-I-150)は、1964年に田沢湖高野で採集されたものである。

筆者は、2009年に、鹿角市八幡平で採集された標本を見ているので、貴重な記録として、ここに報告したい。田沢湖町高野以外の採集例としては、この半世紀ほどの間で初めての確実な採集例であり、県北半から初めての記録でもある。

採集データ

1♂ 秋田県鹿角市切留平 8 Aug. 2009

福田琳之介 採集

採集地は、八幡平西側山麓の標高600~630mにある、別荘地の中の草地とのことである。

この別荘地の南東側には放牧地があり、広い草地があるが、キマダラモドキの生息の有無は調査されていない。今回採集された地点は、長期間にわたって草地として存続していたとは考えにくいので、周辺の調査によってこの地域の個体群の広がり把握する必要があるだろう。

採集者の福田琳之介君は、秋田市在住の小学校

5年生で、父親の博志氏と一緒に、最近数年続けて博物館教室「昆虫教室」に参加しているが、親子共々、休日を利用して方々へ採集に出かけているとのことである。

引用文献

- 新谷明弘, 1977. 1976年秋田県の蝶に関する覚え書. 秋田自然史研究. 8:19.
——, 1989. 田沢湖町高野周辺の蝶. 秋田自然史研究. 24:8-12.
成田正弘, 2000. 秋田の蝶. 秋田自然史研究会.
高橋雅彌, 1972. 秋田県の蝶. 秋田自然史研究会.
——, 1977. 秋田県の蝶補遺(Ⅰ). 秋田自然史研究. 8:24.

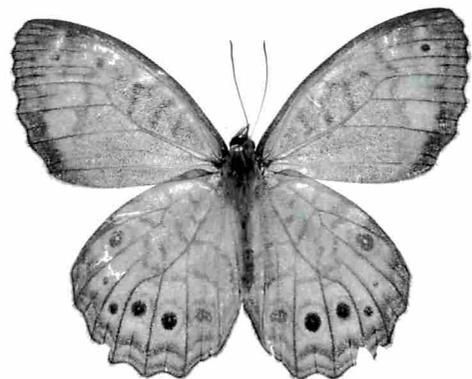


写真1. キマダラモドキ♂表面

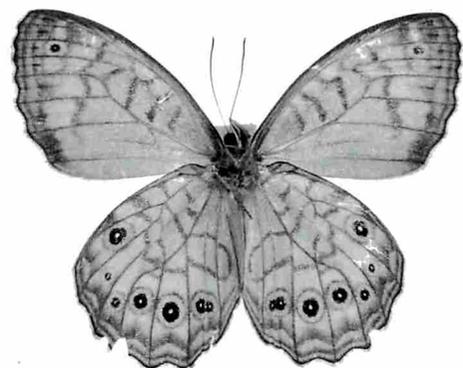


写真2. 同裏面

*秋田県立博物館